

宮城県考古学会中世部会開催のお知らせ

宮城県考古学会中世部会事務局

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日時が差し迫っておりますが、下記の日時および場所で宮城県考古学会中世部会を開催いたします。今回はお城と近世初頭の瓦をテーマに2つの研究発表を用意いたしました。

研究発表一つ目はで今年から仙台市文化財課に所属し、現在仙台城跡の発掘調査にたずさわっている須貝慎吾氏の修士論文をベースに、一部まとめ直したものになります。

研究発表二つ目は、この夏に開催されました織豊期城郭研究会の「続 織豊期城郭瓦研究の新視点」において及川と森田が集成を行いました仙台市の仙台城跡、若林城跡、南小泉遺跡出土の金箔瓦、松島町の瑞巖寺の近世初頭の瓦を実際に展示しますので、これを機に多くの方々に見て頂き、その上で近世瓦研究今後の方向性について皆さんと議論していいければと考えております。また瓦のみならず城郭や寺院建築の研究との関連についても考えていければと思います。

また研究発表に先立ち、「今後の中世部会の運営について」と題しまして、今後の中世部会の運営について事務局から報告がございますので、こちらにつきましても皆さんからご意見をいただければ幸いです。

どうぞ奮ってご参加ください。（SNS等におけるシェア大歓迎！！）



日時 2018年12月1日 13時30分～16時（予定）

場所 仙台市向田文化財整理作業室（仙台市宮城野区高砂2丁目22-1）※駐車場あり

連絡先等につきましてはFACEBOOKの「宮城県考古学会中世部会」ページまで

宮城県考古学会中世部会

FACEBOOKページQRコード

議題（13時30分～）

「今後の宮城県考古学会の運営について」

- ・部会長、副部会長職および今後の事務局について
- ・中世部会から中近世部会への改変について

研究発表（14時00分～）

須貝慎吾（仙台市教育委員会） 「戦国期佐竹家中内における権力構造と城下」

及川謙作・高橋純平・須貝慎吾（仙台市教育委員会）・森田義史（松島町教育委員会）

「瑞巖寺・仙台城・若林城等で出土している近世初頭の瓦と各遺跡の概要と瓦の系譜について」

（各遺跡から出土した資料を実際に見学しながら）